

石淵ダムニュース

平成24年10月15日
最終号

石淵ダム 管理を終える最後の日まで役割を果たす!



石淵ダムは、10月2日をもってその役割を終えましたが、最後の日まで役割を無事果たすことができました。

かんがい期間においては、特に8月の総降水量が92mmと過去5ヶ年(H19～H23)平均と比較すると約44%と極端に少なく、過去30年(S58～H24)で3番目に雨の量が少ない年となりました。

そこで、石淵ダムでは渇水対策支部「注意体制」を設置(8/6～9/7)し、「石淵ダム渇水調整会」を開くことによって、各関係機関との調整を図りながら対応しました。また、貯水池や上下流域巡視、水質分析を行うことによって河川流況の監視・情報収集に努めました。

その結果、稲の生育において最も水が必要とされる「穂ばらみ期」、「出穂期」を無事乗り切ることが出来ました。稲も順調に色付き始め、9月中旬には稲刈りを終えている田んぼもいくつか見られました。今年も胆沢平野の美味しいお米が穫れることと思います。



石淵ダム渇水調整会の様子



貯水池巡視の様子



貯水池の状況

また、9月30日～10月2日には台風17号接近に伴う降雨の影響により、最大流入量 $816\text{ m}^3/\text{s}$ と観測史上5位を記録しました。9月30日をもって管理を終える予定でしたが、下流域における洪水被害を軽減するため洪水調節を行いました。

その結果、約 392 万m^3 の水を貯め込むことで、下流(大歩地点)において約 0.6 m の水位上昇を抑え、下流域の洪水被害を防ぐことが出来ました。

その後、流入量が低下したため10月2日をもって管理を終了いたしました。大量の流木が貯水池内に流れ込んできており、そのままにしておくと下流域に予期せぬ被害をもたらす可能性があるため、集積・処理を行うこととしています。

洪水調節に関する詳細はこちらをご覧ください。

http://www.thr.mlit.go.jp/bumon/kisya/saigai/images/43120_1.pdf



10月1日朝の放流状況



10月1日朝の貯水池状況



貯水池の流木状況

石淵ダムの記録（最終回）

～ 締めくくりとして各行事が行われました ～

今年の10月2日で管理を終えた石淵ダムのこれまでの歴史を様々な資料で振り返ってきましたが、最終回の今回は管理終了を迎えるにあたって行われた様々な行事の様子をご紹介します。

石淵ダム感謝式典【9月4日(火)】

この式典は、59年間に渡り安定したかんがい用水を確保し続けた石淵ダムへの感謝の意を伝えようと胆沢平野土地改良区が主催したもので、徳山 東北地方整備局長、松井 胆沢ダム工事事務所長、矢沢 北上川ダム統合管理事務所長、荒澤 石淵ダム管理支所長、利水関係者の方々が出席されました。

胆沢平野土地改良区から石淵ダム管理支所へ感謝状が贈呈され、フィナーレには、出席者と「感謝と希望の言葉」を述べた愛宕小学校の皆さんによって色とりどりの風船が飛ばされ、あいにくの雨の中ではありませんが、笑顔と暖かさに包まれた感動的な式典となりました。



胆沢平野土地改良区よりの
感謝状贈呈



石淵ダムへの感謝を込めて
風船を飛ばす出席者



愛宕小学校4年生からの
「希望と感謝の言葉」

慰霊祭【9月5日(水)】

前号でもご紹介した慰霊碑の移設作業を前に北上川ダム統合管理事務所、胆沢ダム工事事務所各職員の他、石淵ダム建設時にお亡くなりになられた方々の関係者も出席のもと、慰霊祭がしめやかに行われました。

現在は学習館に仮移設されており、最終的には石淵ダム左岸側山頂に整備される予定の「石淵望郷広場(仮称)」に移設される予定です。



慰霊碑に黙祷を捧げる関係者

石淵ダム・胆沢ダム引継式【10月4日(木)】

10月2日をもって管理を終えた石淵ダムの全施設を胆沢ダムへ引き継ぐ、「石淵ダム・胆沢ダム引継式」が行われました。

式では、北上川ダム統合管理事務所長から胆沢ダム工事事務所長へ、石淵ダムの全施設が目録という形で引き継がれました。また、石淵ダム管理運用最後となるゲート開放操作も出席者のご協力のもと行われ、クレストゲート4門(オフィスゲートは放流対応のため開放済)が同時に6m程度開かれました。全門同時に解放されることはとても珍しいことであるため、皆さん感慨深そうに見つめていました。

最後には出席者全員で万歳三唱が行われ、石淵ダム約60年の功績を称え、最後の別れを惜しましました。



石淵ダム施設引継

目録の引渡を行い、
固い握手をする両所長



ゲート全門開放

石淵ダム最後の雄姿

ゲート開放操作

最後のゲート開放操作
スイッチを押す立会者



万歳三唱

石淵ダムの功績を称え、
参加者全員で万歳三唱



石淵ダム60年のあゆみ

年	石淵ダム年表
昭和16年	●北上川治水計画並びに北上地域総合開発のため、北上川・栗石川・濁川・石川・和賀川・胆沢川の各河川に大規模築堤の計画立案
20年	●石淵堰建設具体化とともに測量を開始したが、降雹のため中止
21年	●石淵堰建設設計画に伴う工事実施の組織設置及び準備工事に着手 ●石淵堰建設事務所開設(9月)
26年	●土木工事事務所組織変更(10月) ●石淵堰建設事務所開設(11月)
28年	●石淵堰堤の地功式(概観)(6月30日) ●貯水開始(12月22日)
32年	●石淵ダム管理所と名称変更(4月)
34年	●台風15号による洪水(9月):最大流入量762.2m ³ /s
47年	●台風20号による洪水(9月):最大流入量742.7m ³ /s
48年	●7~8月利水容量が激減し、異常湛水のため対策委員会を設け
49年	●豪雪のため職員全員足止め(1月)(26日新雪91cm, 27日積雪281cm)
53年	●7~8月利水容量が激減し、濁水対策連絡会議開催(4回)
54年	●台風20号による洪水(10月):最大流入量642m ³ /s
56年	●台風15号による洪水(8月):最大流入量811.5m ³ /s
57年	●台風18号による洪水(9月):最大流入量686.6m ³ /s
59年	●石淵ダムダム事務所設置
61年	●高下型地震、震度5(6月27日)
62年	●前線による洪水(8月):最大流入量645m ³ /s
63年	●前線(集中豪雨)により管理開始以来最大洪水:最大流入量1,078m ³ /s ●胆沢ダム工事事務所設置
平成元年	●台風17号による洪水(8月):最大流入量664m ³ /s
2年	●台風19号による洪水(9月):最大流入量1,076m ³ /s
4年	●胆沢ダム補修協定締結
5年	●胆沢ダム工事開始(6月)
6年	●7~9月利水容量が激減し、利水者会議を開催(4回)
15年	●石淵ダム堤功50周年
18年	●台風9号による洪水(9月):最大流入量937m ³ /s
20年	●岩手・宮城内陸地震、観測史上最高震度6強を記録(6月14日)
23年	●東日本大震災、震度5強(3月11日)
24年	●台風17号による洪水(10月):最大流入量816m ³ /s

地域の発展を見守り続けて半世紀

石淵ダムの役割(治水)

洪水時に上流からの河川流量をダムで調節し、下流の河川流量を低減させ洪水被害を軽減することが、ダムの重要な目的の一つです。石淵ダムは、供用以来、多くの洪水から流域の方々の生命・財産を守ってきました。

石淵ダム洪水履歴

洪水年月日	洪水原因	流域からの雨量(mm)	最大流入量(m ³ /s)	最大貯水容量(m ³)	最大貯水率(%)	減水率(%)
昭和24年 昭22日 昭23日	台風15号	284	762	315	44.7	28
昭和24年 昭21日 昭22日	台風20号	232	743	451	38.1	19
昭和24年 昭21日 昭22日	台風20号	232	743	451	38.1	19
昭和24年 昭22日 昭23日	台風15号	387	812	342	26.9	13
昭和27年 昭12日 昭13日	台風15号	130	887	16	0.7	48
昭和28年 昭11日 昭12日	台風15号	288	824	76	6.9	16
昭和32年 昭25日 昭26日	台風20号	172	845	420	27.7	25
昭和32年 昭25日 昭26日	台風20号	266	1,078	443	39.2	23
昭和三十四年 昭27日 昭28日	台風17号	207	887	116	1.8	19
昭和35年 昭30日 昭31日	台風15号	198	1,078	10	0.1	16
昭和36年 昭30日 昭31日	台風15号	194	1,077	215	16.2	19
昭和37年 昭10日 昭11日	台風19号	187	826	37	4.9	24
昭和38年 昭10日 昭11日	台風19号	183	826	37	4.9	24
昭和41年 昭10日 昭11日	台風17号	181	816	474	31.6	21

昭和63年8月29日洪水での下流大歩地区における洪水調節効果

石淵ダムがなかった場合の水位 5.20m
約60cm水位上昇を抑えた

平成19年9月 台風9号における濁水捕捉状況

濁水を捕捉し、下流に流れるのを防ぎました。

災害復旧が本格化
流水の撤去進み、砂目・礫目等の除去作業も本格化

石淵ダム管理支所 新庁舎
〒023-0403
岩手県奥州市胆沢区若柳字横岳前山6番
TEL: 0197-49-2981
FAX: 0197-49-2988

～引継式において出席者に配布された資料～

庁舎移転のお知らせ

石淵ダム管理終了に伴い、10月5日より庁舎が移転となり、下記のとおり連絡先が変わります。ダム管理業務は終えることとなりますが、引き続き胆沢ダムへ引き継ぐための業務を行いますので、よろしくお願いいたします。



「石淵ダム」から「胆沢ダム」へバトンタッチ！！

〒023-0403

奥州市胆沢区若柳字横岳前山6
北上川ダム統合管理事務所
石淵ダム管理支所

TEL 0197-49-2981
FAX 0197-49-2988